

2026年4月入学

大学院

外国人留学生入学試験要項

理工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

行動する知性。



目 次

I	入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー）	3
II	大学院の構成と学生定員	5
III	入学試験日程・選考方法	6
IV	入学試験フローチャート	8
V	出願	
1	出願資格	9
2	出願書類	10
3	個別の入学資格審査	12
4	出願方法	12
5	入学検定料	12
6	受験および就学上の配慮について	13
7	出願書類提出時の注意	13
8	受験票の送付	15
9	試験場および試験集合時間	15
10	受験上の注意	15
11	安全保障輸出管理について	15
12	個人情報の取り扱い	15
VI	合格発表と入学手続	
1	合格発表	16
2	入学手続	16
VII	学生生活について	
1	外国人留学生ガイダンスについて	17
2	奨学金等について	17
3	住まい・国際寮について	17
VIII	学費	17
IX	出願書類記入例	18
X	キャンパス案内図	22
XI	問い合わせ先一覧	25

I 入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

○理工学研究科の求める人材

理工学研究科は、将来の科学技術基盤を担う研究者・技術者の養成をすべく、基礎に重点を置きながらも最先端の理論と技術を修得するための教育を提供しています。また、実学を念頭におき、産学連携教育、産学連携研究を通じて、価値観の多様化、研究領域の多様化を考慮した創造的視点からの問題解決能力の育成、早期に社会的貢献ができる人材を輩出することを目標としています。そのため、次のような学生を求めています。

- ・国際的第一線で活躍できる研究者・技術者になりたい人
- ・広い視野と学部で修得した基礎学力の充実を深めて、より高度な専門知識と研究遂行能力を修得したい人
- ・深く広い思考力と問題発見・定式化能力に基づく先端的研究能力を向上させるための理論と応用力を修得したい人
- ・高信頼性を保持した、安全で豊潤な社会情報基盤を築くことに関心のある人
- ・理工学の分野だけでなく、社会科学・人文科学との連携も視野に入れた境界領域の学問分野に関心のある人

以上に基づき、理工学研究科では次のような知識・能力等を備えた学生を多様な選抜方法によって受け入れます。

- ・博士課程前期課程においては大学理工系学部卒業程度の基礎学力を持ち、専門分野における知識と応用力を備えている。（知識・技能）
- ・博士課程後期課程においては博士課程前期課程修了程度の基礎学力を持ち、それを発展させる能力を有している。（知識・技能）
- ・学部卒業水準以上のコミュニケーション力、問題解決力、知識獲得力、組織的行動能力、創造力、自己実現力、多様性創発力、ならびに専門性を発揮しており、入学後も自らそれらを向上させる意志を有している。（能力）

【数学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

学部で学んだ数学の基本的な概念を会得しており、数学を学ぶ態度が備わっていること。また自ら考える姿勢を身に付けており、様々な数学的現象に興味を持って接することができることを前提とします。

(2) 博士課程後期課程

博士課程前期課程で研究したことを自らのものにしており、さらにその先に現れる様々な数学的問題を見出し、それを解決していくための方策を深めていく能力を有すること。

【物理学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

- ・物理学に関して、大学理工系学部卒業程度の基礎学力を身につけている者。
- ・学部で修得した基礎学力を充実させ、さらなる専門知識と論理的思考力、広い視野を身につける意欲のある者。
- ・博士課程前期課程で修得した専門知識と論理的思考力、広い視野を生かし、修了後に研究者・開発者あるいは社会人として活躍することを希望する者。

(2) 博士課程後期課程

- ・専門分野における基礎知識と応用能力を身につけている者。
- ・博士課程前期課程で修めた専門知識と問題解決力をさらに深め、大学、公的機関や民間企業等において研究者・開発者として活躍することを希望する者。

【都市人間環境学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

自然科学分野の基礎的教養を習得しているとともに、都市・人間・環境学分野において十分な基礎学力を備えている者。また、それらをもとに論理的思考能力を有するとともに、積極的に新たな課題に取り組む意欲と新しい領域を切り開いていく意欲を有している者。さらに、教育・研究活動において最低限必要となる英語能力とコミュニケーション能力を有している者。

(2) 博士課程後期課程

自然科学分野の基礎的教養を習得しているとともに、博士課程前期課程の専門分野において十分な基礎学力を備えている者。また、それらをもとに論理的思考能力を有するとともに、積極的に新たな課題に取り組む意欲と新しい領域を切り開いていく意欲を有している者。さらに、教育・研究活動において最低限必要となる英語能力とコミュニケーション能力を有している者。

【精密工学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

「精密工学専攻において養成する人材像」に基づき、次の二つの条件を満たす人を広く国内外から受け入れます。

- ① 精密工学の基礎、特に数学と力学の素養と応用力を身につけており、この分野の研究に自主的かつ積極的に取り組む意欲のある人
- ② 精密工学の知識を適切に理解し伝えることのできるコミュニケーション能力を有していて、研究成果を積極的に国内外へ発信しようとする意欲にあふれた人

(2) 博士課程後期課程

「精密工学専攻において養成する人材像」に基づき、次の三つの条件を満たす人を広く国内外から受け入れます。

- ① 精密工学に関する十分な知識を有していて、新しい知の創造に意欲的に取り組もうとする人
- ② 精密工学について英語によって基本的なコミュニケーションができる人で、その能力を国際的に活躍できるレベルへ向上させる意欲のある人
- ③ 研究・開発において後進の指導の経験があり、研究・開発組織における指導者となることを意識して指導力の向上と人間的な成長を心がける人

【電気電子情報通信工学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

理工学研究科が求める人材の中でも、特に電気、電子、情報通信工学分野の大学学部卒業程度の専門知識と、それらを応用する際に必要となる応用数学の知識、さらに国際的な研究分野の動向を理解することができるような英語の知識を持った学生が積極的に入学することを期待します。

【応用化学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

先端化学の専門知識と豊かな人間性を併せ持ち、社会に貢献する志を有する人、またグローバルに活躍できるコミュニケーション能力を得ようとする人、及び獲得した科学技術をもって自然環境の保持や社会の持続的発展のために能動的に行動できる人の入学を期待します。

(2) 博士課程後期課程

先端化学の高度な専門知識と豊かな人間性を併せ持ち、社会に貢献する高い志を有する人、またグローバルに活躍できるコミュニケーション能力を得ようとする人、及び獲得した科学技術をもって自然環境の保持や社会の持続的発展のために、社会科学との連携も視野に入れ能動的に行動できる人の入学を期待します。

【ビジネスデータサイエンス】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

博士課程前期課程では、以下の項目を有する人物を受け入れます。

- ・データサイエンスの諸分野、すなわち品質環境経営、生産管理、新製品開発、マーケティングサイエンス、信頼性・安全性工学、統計工学、機械学習、金融工学、オペレーションズリサーチ、ヒューマンメディア工学、感性工学、知能情報学、自然言語処理、スマートセンシング、地理情報科学などに関して研究を進めることができる基礎的な学力を有する。
- ・データサイエンスに関する高度な専門知識を積極的に学習する意欲があり、企業や組織の経営上の諸問題への強い関心を持ちそれらの解決に寄与することを志願する。
- ・先端的な研究課題に能動的に取組み、企業や研究機関等で活躍できる研究者や専門家となることを希望する。
- ・エンジニア、研究者、実務家としてグローバル対応力を持ち、世界の第一線で活躍することを志願する。

(2) 博士課程後期課程

博士課程前期課程に示した各項目に加え、データサイエンス分野に関して自立した研究者として社会や学界に貢献する熱意があり、専門分野における継続した研究遂行能力がある人物を国内外から受け入れます。

【情報工学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

理工学研究科及び情報工学専攻が定める「修了するために身に付けるべき知識・能力」を具備すべく、「教育課程の編成及び実施に関する方針」にて定めた教育課程に十分対応できる知識・能力を有する者を受け入れます。入学希望者の経歴を考慮して、情報工学基礎、特に数理情報学、社会情報学、映像情報学、及び知能情報学、並びに、情報セキュリティに関する知識やそれらを活用する能力を確認する手段、かつ、情報工学専攻で学ぶ意思及び準備状況について能力確認する手段を複数設定し、入学受け入れの可否を判断します。

【生命科学】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

(1) 博士課程前期課程

地球環境との共存に根ざした科学技術の持続的発展が人類共通のテーマである今、生命現象の深い理解に基づいて、生命科学に関するさまざまな分野で活躍できる研究者・技術者を養成します。その前提となる生命科学分野の基礎知識を持つとともに、高度な研究能力を獲得しようとする強い意志を持つ学生を積極的に受け入れます。

(2) 博士課程後期課程

地球環境との共存に根ざした科学技術の持続的発展が人類共通のテーマである今、多方面にわたる生命科学分野の学術的進展に貢献し、国際的に活躍できる研究者・技術者を養成します。そのために、前期課程で修得した知識に基づき、国際的な幅広い視野を持ち、自立して独創的な研究を推進する強い意志を持つ学生を歓迎します。

【電気・情報系】

理工学研究科のアドミッション・ポリシーに加え、以下を方針とします。

電気・情報系分野の技術進歩・発展は特に著しく早いこともあり、理工学研究科が求める人材の中でも、本学大学院電気電子情報通信工学専攻及び情報工学専攻の博士課程前期課程修了レベル相当の専門知識、それらを応用して先進的な研究をする際に必要となる応用数学の知識、さらに国際的な研究分野での動向を理解して積極的に自分の研究成果を発表することができるような英語の知識を持った学生が積極的に入学することを期待します。

Ⅱ 大学院の構成と学生定員

単位：人

研究科	専攻	博士前期課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
理 工 学	数 学	25	50	3	9
	物 理 学	25	50	3	9
	都 市 人 間 環 境 学	60	120	5	15
	精 密 工 学	52	104	3	9
	電気電子情報通信工学	45	90	—	—
	応 用 化 学	45	90	3	9
	ビジネスデータサイエンス	30	60	3	9
	情 報 工 学	40	80	—	—
	生 命 科 学	25	50	2	6
	電 気 ・ 情 報 系	—	—	7	21
	計	347	694	29	87

収容定員合計：781

Ⅲ 入学試験日程・選考方法

理工学研究科

<博士前期課程>

(1) 募集及び入試日程

専攻	募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	入学申込手続
			(筆答・口述)		
数 学	若干名	2025年 9月19日(金) ～9月25日(木)	2025年 11月4日(火)	2025年 11月10日(月)	2026年 1月15日(木)
物 理 学					
都 市 人 間 環 境 学					
精 密 工 学					
電 気 電 子 情 報 通 信 工 学					
応 用 化 学					
ビジネスデータサイエンス					
情 報 工 学					
生 命 科 学					

(2) 選考方法

- ① 書類・論文審査
- ② 筆答試験
- ③ 口述試験

<筆答試験詳細>

専攻	試験科目				解答(専門科目)に使用する言語	試験時間	
	外国語	配点	専門科目	配点		筆答	口述
数 学	英語 (辞書使用不可)	100点	数学	100点	日本語 都市人間環境学専攻は 日本語または英語	(外国語) 9:30～10:20 (専門) 11:00～13:00	筆答試験終了後(同日)、受験者全員に実施 口述試験会場・時間については、試験当日にお知らせします。
物 理 学	-	-	物理学				
都 市 人 間 環 境 学	-	-	都市人間環境学				
精 密 工 学	-	-	数学・力学				
電 気 電 子 情 報 通 信 工 学	-	-	電気電子情報通信工学				
応 用 化 学	-	-	化学				
ビジネスデータサイエンス	-	-	数学、情報 (6問中4問を選択)				
情 報 工 学	-	-	情報工学				
生 命 科 学	-	-	生命科学				

<博士後期課程>

(1) 募集及び入試日程

専 攻	募集人員	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学申込手続
			(筆答・口述)		
数 学	若干名	2025年 9月19日(金) ～9月25日(木)	2025年 11月4日(火)	2025年 11月10日(月)	2026年 1月15日(木)
物 理 学					
都 市 人 間 環 境 学					
精 密 工 学					
応 用 化 学					
ビジネスデータサイエンス					
生 命 科 学					
電 気 ・ 情 報 系					

(2) 選考方法

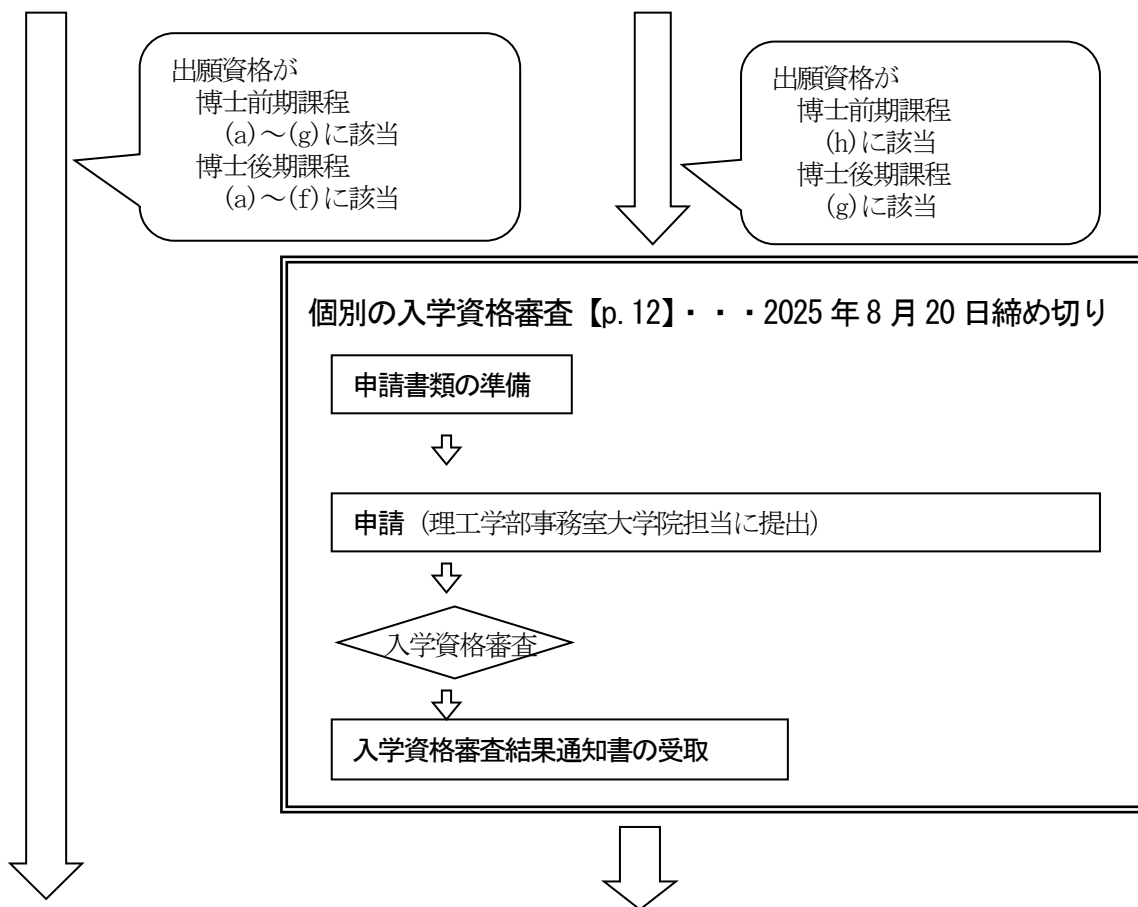
- ① 書類・論文審査
- ② 筆答試験
- ③ 口述試験

<筆答試験詳細>

専 攻	試験科目		解答（専門科目）に 使用する言語	試験時間	
	専門科目	配点		筆答	口述
数 学	数学	100点	日本語 または英語	(専門) 11:00～13:00	筆答試験終了後(同日)、受験者全員に実施 口述試験会場・時間については、試験当日に お知らせします。
物 理 学	物理学				
都 市 人 間 環 境 学	都市人間環境学				
精 密 工 学	小論文				
応 用 化 学	化学				
ビジネスデータサイエンス	数学、情報 (6問中4問を選択)				
生 命 科 学	生命科学				
電 気 ・ 情 報 系	電気・情報系				

IV 入学試験フローチャート

① 出願資格の確認【p. 9】及び希望指導教員に連絡【p. 13】・・・2025年8月20日より前



②出願書類の準備【p. 10】・入学検定料の振込【p. 12】



③出願【p. 12】(日本国内から郵送)・・・2025年9月19日～2025年9月25日



入国手続

日本国外からの出願者は、入国のための手続を行い、試験日に間に合うように入国してください。

※日本への入国にあたっては、原則として各人が短期滞在ビザ等を個人の責任で取得して、渡航していただくことになります。ビザ申請のために「受験許可証」を必要とする者は、出願締切後に理工学部事務室大学院担当に申し出てください。

④受験票の受取り【p. 15】



⑤受験【p. 15】・・・2025年11月4日

1. 出願資格

外国の国籍を有し、2026年4月1日現在、次の各号のいずれかに該当する者

(1) 博士前期課程

- (a) 日本の大学を卒業した者（学士の学位を有する者）
- (b) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (c) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- (d) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- (e) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学士の学位を有する者）
- (f) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (g) 文部科学大臣の指定した者
- (h) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

(2) 博士後期課程

- (a) 修士の学位を有する者
- (b) 専門職学位を有する者
- (c) 文部科学大臣の指定した者
- (d) 上記(a)又は(b)と同等以上の外国の大学の学位を有する者
- (e) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (f) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (g) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

【注】 1. 外国と日本の両方の国籍を有する者についても出願を認めます。

2. 日本の大学を卒業した者、または日本の大学院の課程を修了した者を含みますが、日本において、通常の高等学校教育の課程を修了した者は除きます。

3. 上記(1)の(c) (d)について、修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査の申請期限前（入学検定料を振り込む前）のなるべく早い時期に理工学部事務室大学院担当にお問い合わせください。

4. 上記(1)の(h)および(2)の(g)により出願できる者は、出願に先立ち申請手続きを行い、本大学院の入学資格審査を受け、認定を受けた者としします。「個別の入学資格審査」の申請はp.12の要領で行ってください。

5. 中国の大学の専科（3年制）の卒業生は、学士学位を授与されている場合でも博士前期課程の出願資格はありません。本人からの申請に基づき事前に行う「個別の入学資格審査」にて入学資格ありと認められた卒業生のみ出願できます。なお、専科を卒業後に本科を卒業して16年の課程を修了し、学士学位を授与された者は出願を認めます。

6. 日本語能力を証明する書類がない場合、出願ができない課程があるので注意してください。

2. 出願書類

博士前期課程志願者

出願書類		備考
①	志願票等	【本学所定様式Ⅰ～Ⅲ】
②	入学願書	【本学所定様式Ⅳ】
③	研究報告書 ※都市人間環境学専攻のみ	【本学所定様式Ⅴ】 ①テーマは卒業研究、卒業設計等自身の行った研究に限定する（注1）。 ②使用言語は日本語または英語とする。 ③A4用紙2ページ以内。
	論文 ※都市人間環境学専攻以外の専攻	【本学所定様式Ⅴ】 ①テーマは以下の専攻以外においては、自由に設定し作成すること（注1）。 ・精密工学専攻は、卒業研究、卒業設計等自身の行った研究に限定する。 ・電気電子情報通信工学専攻は、論文テーマを今までの自分の研究や学習内容について、入学後希望する研究内容に関連づけてまとめること。 ・応用化学専攻は、今までの自分の研究や学習内容についてまとめること。 ・情報工学専攻は、入学後希望する研究内容に関連するものに限定する。 ・生命科学専攻は、これまでの大学での学習内容や卒業研究について、入学後希望する研究内容と関連づけてまとめること。 ②使用言語は日本語または英語とする。 ③A4用紙5ページ以内。
④	論文概略	【本学所定様式Ⅵ】 論文作成において英語を使用する場合のみ提出すること（A4用紙1ページ、使用言語は日本語）。 ※都市人間環境学専攻、電気電子情報通信工学専攻、生命科学専攻は提出不要とする。
⑤	研究計画書	【本学所定様式Ⅶ】 日本語または英語でA4用紙片面1ページにまとめること。
⑥	経済支弁能力を証明する書類	【本学所定様式Ⅷ】 本学に留学する間の学費・生活費の支弁方法を虚偽のないよう記入すること。
⑦	日本語能力を証明する書類	次の成績を証明する証明書原本を提出すること（コピー不可）。（注2）（注3） ただし、日本の大学・大学院を卒業・修了している場合は任意とする。 『日本語能力試験N2レベルまたは2級以上の合格もしくは日本留学試験の日本語の合計点数が200点以上』（注4） 【日本留学試験（EJU）の日本語スコアについて】 EJU オンライン上のマイページで発行される「成績確認書」のプリントアウトを提出すること。なお、日本留学試験を日本国外で受験した場合は、「成績に関する証明書（成績証明書）」「成績通知書」のいずれかの原本を提出すること。 <u>スコアは2年以内（直近4回分）の取得のものに限る。</u>
⑧	大学の卒業証明書および 学士学位取得証明書 ※卒業見込みおよび 学位取得見込みを含む	①出身学校が発行した原本を提出すること（コピー不可）。（注5） ②日本語または英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、日本語または英語による訳文を付け、訳文は公的機関で認証を受けてから提出すること（中国国内で発行された証明書の公証・認証手続は、中国国内の教育部学歴認証センターまたは各地方の公証処において行われるため、中国の大学・大学院を卒業・修了した受験生は、出願期間に間に合うよう早めに準備を開始すること）。
⑨	大学の成績証明書 ※取得した成績がすべて 記載されていること	③本学を含む複数の大学・大学院を卒業・修了（見込含む）している場合は、本学の証明書もあわせて提出すること。 ④大学・大学院等を中途退学、編入学した者は、在学期間証明書および在学期間中の成績証明書も提出すること。
⑩	在留カードのコピー パスポートのコピー 特別永住者証明書のコピー	氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分のコピー ※いずれか1種類のみ
⑪	推薦状（任意様式） ※任意提出	出身大学・大学院等の学長、学部・研究科の長または指導教授のうちいずれかが日本語または英語で作成すること。

（注1）論文・研究報告書作成において著作物を参照・引用した場合は、文末に典拠を明記してください。

（注2）原本の返却を希望する場合は、p.14をご確認ください。

（注3）日本語能力試験等の語学能力試験のスコア・証明書の提出については、原則として出願期間内に原本を提出してください。原本発行に時間を要する等の理由により、出願期間内に原本を提出できない場合は、出願期間前に理工学部事務室大学院担当にお問い合わせください。

（注4）（財）日本国際教育支援協会による日本語能力試験、（独）日本学生支援機構による日本留学試験のことを指します。

（注5）中国国内で発行された卒業証書等の公証・認証手続は、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）や各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）

において行われており、中国国内の教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。また、日本国内では、中国教育部学歴認証センター日本代理機構（株式会社メリットファイブ内：Tel03-6909-2235）が公証・認証手続きを行っています。出願書類の準備により多くの時間を要することが予想されますので、出願期間に間に合うよう、早めに準備を開始してください。

博士後期課程志願者

出願書類		備考
①	志願票等	【本学所定様式Ⅰ～Ⅲ】
②	入学願書	【本学所定様式Ⅳ】
③	研究報告書 ※都市人間環境学専攻のみ	【本学所定様式Ⅴ】 ①テーマ：これまでの大学での学習内容や研究について、入学後希望する研究内容に関連づけてまとめること。（注1）。 ②使用言語は日本語または英語とする。 ③A4 用紙2 ページ以内。
	論文 ※都市人間環境学専攻以外の専攻	【本学所定様式Ⅴ】 ①テーマは以下の専攻以外においては、自由に設定し作成すること（注1）。 ・精密工学専攻は、これまで出願者自身が行った研究に限定する。 ・応用化学専攻は、今までの自分の研究や学習内容についてまとめること。 ・生命科学専攻は、これまでの大学での卒業研究や大学院修士課程（博士前期課程）での研究について、入学後希望する研究内容と関連づけてまとめること。 ・電気・情報系専攻は、入学後希望する研究内容に関連するものに限定する。 ②使用言語は日本語または英語とする。 ③A4 用紙6 ページ以内。
④	論文概要 ※ビジネスデータサイエンス専攻のみ	【本学所定様式Ⅵ】 論文作成において <u>英語を使用する場合のみ提出すること</u> （A4 用紙2 ページ、使用言語は日本語）。
⑤	研究計画書	【本学所定様式Ⅶ】 日本語または英語でA4 用紙片面1 ページにまとめること。
⑥	経済支弁能力を証明する書類	【本学所定様式Ⅷ】 本学に留学する間の学費・生活費の支弁方法を虚偽のないよう記入すること。
⑦	日本語能力を証明する書類	日本語能力試験または日本留学試験の受験結果を示した証明書原本を提出すること（提出は任意とする。コピー不可）。（注2）（注3）（注4） 【日本留学試験（EJU）の日本語スコアについて】 EJU オンライン上のマイページで発行される「成績確認書」のプリントアウトを提出すること。なお、日本留学試験を日本国外で受験した場合は、「成績に関する証明書（成績証明書）」「成績通知書」のいずれかの原本を提出すること。 <u>スコアは2 年以内（直近4 回分）の取得のものに限る。</u>
⑧	大学院の修了証明書・ 修士学位取得証明書 ※修了見込みおよび 学位取得見込みを含む	①出身学校が発行した原本を提出すること（コピー不可）。（注5） ②日本語または英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、日本語または英語による訳文を付け、訳文は公的機関で認証を受けてから提出すること（中国国内で発行された証明書の公証・認証手続きは、中国国内の教育部学歴認証センターまたは各地方の公証処において行われるため、中国の大学・大学院を卒業、修了した受験生は、 <u>出願期間に間に合うよう早めに準備を開始すること</u> ）。
⑨	大学院の成績証明書 ※取得した成績がすべて 記載されていること	③本学を含む複数の大学・大学院を卒業・修了（見込む）している場合は、本学の証明書もあわせて提出すること。 ④大学・大学院等を中途退学、編入学した者は、在学期間証明書および在学期間中の成績証明書も提出すること。
⑩	在留カードのコピー パスポートのコピー 特別永住者証明書のコピー	氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分のコピー ※いずれか1 種類のみ
⑪	推薦状（任意様式）	提出は任意 出身大学・大学院等の学長、学部・研究科の長または指導教授のうちいずれかが日本語または英語で作成すること。

（注1）論文作成において著作物を参照・引用した場合は、論文末に出典を明記してください。

（注2）原本の返却を希望する場合は、p. 14 をご確認ください。

（注3）（財）日本国際教育支援協会による日本語能力試験、（独）日本学生支援機構による日本留学試験のことを指します。

（注4）日本語能力試験等の語学能力試験のスコア・証明書の提出については、原則として出願期間内に原本を提出してください。原本発行に時間を要する等の理由により、出願期間内に原本を提出できない場合は、出願期間前に理工学部事務室大学院担当にお問い合わせください。

(注5) 中国国内で発行された卒業証書等の公証・認証手続は、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）や各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われており、中国国内の教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。また、日本国内では、中国教育部学歴認証センター日本代理機構（株式会社メリットファイブ内：Tel03-6909-2235）が公証・認証手続を行っています。出願書類の準備により多くの時間を要することが予想されますので、出願期間に間に合うよう、早めに準備を開始してください。

3. 個別の入学資格審査

博士前期課程出願資格（h）および博士後期課程出願資格（g）により出願できる者は、出願に先立ち、次の申請手続を行い、本大学院の入学資格審査を受け、認定を受けた者としてします。

(1) 申請期限（必着）

博士前期課程・後期課程共通：2025年8月20日（水）

(2) 申請手続

申請希望者は、次の書類を期限までに後楽園キャンパス理工学部事務室に郵送で提出してください（期限必着）。

①入学資格審査申請書（本学所定用紙様式IX）

②出願書類一式（入学検定料を納入する必要はありません）

(3) 審査方法

提出書類に基づき総合的に審査します。

(4) 審査結果の通知

出願開始日までに、入学資格審査結果通知書を添付し出願書類一式を返却します。認定を受けた者は、出願期間内に入学検定料を納入し、出願してください。

4. 出願方法

(1) 入学検定料を納入後、角2封筒に入れて出願してください。

(2) 出願書類を入れた封筒に「出願書類提出封筒貼付ラベル」を貼付、必要事項を記入して下さい。

(3) 出願は、**簡易書留郵便による郵送とします（出願期間最終日郵便局消印有効）**。

ただし、窓口受付も行います。窓口受付時間は以下で確認してください。

中央大学理工学研究科 窓口受付時間

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/graduateschool/science/info/time/>

(4) 日本国外からの出願者については、日本に在住する代理人が出願書類を郵送してください。出願期間最終日の郵便局消印を有効とします。

(5) 出願書類に不備がある場合は、受け付けられないことがあります。また、不備内容について、本人または証明書等の発行元に問い合わせることがあります。

(6) 出願資格についてご不明な点がある場合は、出願期間前（入学検定料納入前）の早い時期に理工学部事務室大学院担当までお問い合わせください。

5. 入学検定料

(1) 入学検定料は、35,000円です。

(2) 入学検定料はコンビニエンスストアまたはクレジットカードにてお支払いが可能です。支払い方法は別紙手順を必ずご確認ください。

○コンビニエンスストアでの入学試験入学検定料支払い方法

○クレジットカードでの入学試験入学検定料納入方法

入学検定料の返還について

一度支払われた入学検定料は、原則として返還しません。ただし、以下（返還請求対象）のいずれかに該当し、返還手続を行った場合は、入学検定料を返還します（支払手数料は返還対象外）。

<返還請求対象>

- (1) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
(二重払いなど誤って多くの入学検定料を納入した場合の超過分を含む)
- (2) 入学検定料を支払ったが、出願期間後に出願書類を提出した。
- (3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格が欠くなどの理由、そのほか本学の判断により、出願が受理されなかった。

※出願が成立している入学試験の入学検定料は一切返還できません。また、上記以外の事由による入学検定料の返還は一切行いません。

<返還手続>

理工学部事務室大学院担当（gsse-all-grp@g.chuo-u.ac.jp）まで、速やかにご連絡ください。返還手続きについてご案内します。

<注意事項>

1. 入学検定料の返還には1ヵ月以上を要する場合がありますので予めご了承ください。
2. 原則、日本国内の銀行口座への返金とします。
3. 返金振込日に関する個別のお知らせは行いませんので、ご自身で振込先口座の入金状況を確認してください。

6. 受験および就学上の配慮について

身体の機能に障がいがあり、受験および就学上特別な配慮を必要とする者は、出願期間前（入学検定料振込前）のなるべく早い時期に理工学部事務室大学院担当に問い合わせてください。

また、大きな病気や怪我のため、受験に支障をきたす恐れがある者については、それが万一出願後に起こった場合でも、早めに問い合わせてください。

<問い合わせ先> 理工学部事務室大学院担当 gsse-all-grp@g.chuo-u.ac.jp

7. 出願書類提出時の注意

出願する前に、研究指導を受けたい教員に出願したい旨を連絡し、研究指導分野と受け入れ可能な学生数を確認してください。また、志願票(I 票)の希望指導教員受験許可欄に教員の署名と押印をもらってください。ただし、教員の直筆サイン・押印を得ることが難しい場合は、教員の許可を得たうえでメールの写しを署名および押印の代わりとすることを認めます。「承認教員が出願を認めていること」、「署名および押印の代わりにメールでの承認とする」旨が分かるメールの写しを提出してください。教員の連絡先は「2025年度教員紹介」で確認してください。

※必ず志願票の入学時期選択欄の「4月入学」を選択してください。出願後に入学時期を変更することはできません。

- 以下(1)～(3)の注意事項を参照してください。
- 記入にあたっては必ず本人が楷書(block letters)またはローマ字活字体を用いて、黒のペンまたはボールペンで明確に記入してください。
- 書き損じた場合は、修正液等は利用せず修正箇所には二重線(=)を引き、二重線の上に訂正印を押したうえで正しく書き直してください。
- 本学所定用紙は2026年4月入学及び2025年9月入学のものを使用してください。その他の用紙は無効とします。
- 提出書類が不備の場合は受け付けません。
- 一度提出した出願書類は、返却しません。
- 提出した書類・記載事項に不正が認められた場合は、合格を取り消すことがあります。

(1) 志願票等Ⅰ～Ⅲ票

Ⅰ 志願票

- ①志願する研究科・専攻・課程・受験科目は変更できません。
- ②「性別」欄は、文部科学省「学校基本調査」等の統計調査に必要な項目となっています。戸籍やパスポートなどに記載されている登録上の性別をご記入ください。また、入学後の性別等の取り扱いについては専門スタッフに相談することができます。

＜入学後の性別等の取り扱いに関する相談窓口＞

- 学生相談室 <https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/counseling/>
- ダイバーシティセンター <https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/diversity/>
- ハラスメント防止啓発支援室 <https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/harassment/>

- ③顔写真貼付欄は、縦4cm×横3cmに切り取った写真を貼付してください。また、下記の「Ⅱ写真票」に貼付する写真と同一のものを貼付してください。
- ④「出身大学・大学院」が複数ある場合は、直近2つの最終出身大学・大学院を記入してください。ただし、中央大学出身者は、中央大学の学部・大学院を記入してください。
- ⑤学籍番号欄は、中央大学に在学中の者もしくは中央大学出身者のみ記入してください。
- ⑥「指導教員」欄は、第1希望・第2希望それぞれに、連絡をとった教員名、連絡・相談日、連絡方法を記入してください。また、現在（在学時）の指導教員名も記入してください。研究分野により、第2希望がない場合は「なし」と記入してください。

※出願する前に、必ず研究指導を受けたい教員に連絡し研究指導分野等について相談してください。

※希望指導教員への連絡は出願期間開始日以前に日程に余裕をもって行ってください。

※希望指導教員は「2025年度中央大学大学院理工学研究科教員紹介」を参考にしてください。

※次の教員は指導教員に希望できません。

- a. 他専攻・他研究科教員 b. 兼任教員（客員教授、客員講師、兼任講師） c. 2026年度休講予定の教員
a～cは「2025年度中央大学大学院理工学研究科教員紹介」目次の教員名に振ってある記号等で確認してください。
「2025年度中央大学大学院理工学研究科教員紹介」は、
中央大学公式サイト＞学部・大学院・専門職大学院＞大学院＞理工学研究科＞教育スタッフに掲載しています。

- ⑦受験科目欄は、本要項の試験科目を確認し、受験する科目名を記入してください。外国語の試験がある専攻については、「外国語」欄に「英語」と記入してください。外国語試験がない専攻は、「なし」と記入してください。
- ⑧住所・電話番号は日本国内とし、常時確実に連絡の取れる住所・電話番号を記入してください。マンション、アパートの場合は部屋番号、下宿の場合は「〇〇様方」を明確に記入してください。また、メールアドレスは常時確認できるものを記入してください。出願書類について問い合わせる場合があります。
- ⑨「入学後の研究分野」は大学院ガイド、教員紹介等を参考に簡潔に記入してください。

Ⅱ 写真票

顔写真貼付欄に、縦4cm×横3cmの大きさで、出願以前3ヵ月以内に撮影した正面・無帽・無背景のカラー写真貼付してください。貼付した写真は、入学後の学生証顔写真として使用しますので、縦4cm×横3cm以外は無効となります。「Ⅰ志願票」の顔写真貼付欄にも同一の写真を貼付してください。なお、左右が反転したもの、画像に加工を施しているものは使用しないでください。

Ⅲ 入学検定料収納証明書貼付用紙

別紙「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法」の「3 出願」または「クレジットカードでの入学検定料納入方法」の出願の指示を参照してください。

(2) 入学願書（本学所定用紙様式Ⅳ）

- ①記入にあたっては、p. 18～の記入例を参照してください。
- ②本人氏名は、パスポートに記載された**英字氏名**を記入してください。それ以外の氏名を持つ者は、「上記以外の表記」の欄に記入してください。フリガナは、日本語・母語の発音のどちらかを記入してもかまいません。
- ③「希望指導教員」欄は、志願票（Ⅰ票）に記入した第1希望指導教員を記入してください。
- ④「連絡人」の欄には、日本に住んでいる人で、あなたのことをよく知っている人を記入してください。出願書類等について、緊急に連絡する場合もあるので、電話番号を必ず記入してください。
- ⑤出願の時点で国費外国人留学生である者は、「現職」欄の該当箇所にレ印を付けてください。

(3) 各種証明書類の原本返却について

各種証明書および英語外部検定試験のスコア等の原本返却を希望する場合は、下記書類を原本とともに提出してください。

- i) 証明書類原本返却願（本学所定用紙）
- ii) 返却を希望する証明書のコピー
- iii) 切手を貼付した返送用封筒（窓口で出願する場合は不要）

8. 受験票の送付

- (1) 受験票は郵送します。
- (2) 受験票が試験前日までに未着の場合は、理工学部事務室大学院担当までお問い合わせください。
- (3) 受験票は、入学時まで大切に保管してください。

9. 試験場および試験集合時間

■後楽園キャンパス（当日、東門に試験会場を掲示します）

■試験開始時刻の20分前までに集合してください。

※日本への入国にあたっては、原則として各人が短期滞在ビザ等を個人の責任で取得して、渡航していただくことになります。ビザ申請のために「受験許可証」を必要とする者は、出願締切後に理工学部事務室大学院担当に申し出てください。

10. 受験上の注意

- (1) 筆答試験、口述試験とも試験開始時刻の20分前までに集合してください。
- (2) 電卓、定規、コンパス、分度器、電卓あるいは辞書としての機能を兼ね備えた時計の使用は、原則として禁止します。使用の指示がある場合は、受験票に記載します。
- (3) 試験会場に時計がない場合があります。必要な受験者は、各自お持ちください（電卓や辞書機能付きの時計は使用できません。また、当日忘れた場合も貸与はしません）。
- (4) 携帯電話等の通信機器は、試験場内での使用を一切禁止します。試験場内ではカバンなどに入れ、必ず電源を切っておいてください。また、時計としての使用も禁止します。ウェアラブル端末（Apple Watch、スマートグラス等）の使用は認めません。
- (5) 試験当日、学校保健法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を御遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。
- (6) 台風、降雪、地震等の自然災害および交通機関の大幅な乱れにより、予定時刻に試験が開始できないと判断した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を講ずることがあります。交通機関の乱れにより試験会場への到着が遅れる受験生は、交通機関が発行する遅延証明書を持参してください。ただし、繰り下げた開始時刻に到着していない場合は、受験ができないこともありますのでご了承ください。なお、受験生本人に帰すべき要因での遅延は原則として認めません。

11. 安全保障輸出管理について

中央大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づき、「中央大学安全保障輸出管理規程」を定め、国外への貨物・技術の持ち出し、送付における管理や、海外との共同研究、外国人研究者・留学生の受け入れ等に関する対応を行っています。本学大学院の提供する教育・研究内容は、これら安全保障輸出管理の規制対象となる場合があります。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

※安全保障輸出管理の詳細については、経済産業省の安全保障貿易管理のウェブサイトを参照してください。

経済産業省 <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/>

12. 個人情報の取り扱い

以下の事項を確認し、同意のうえ、志願票の所定欄に☑を入れてください。

中央大学は、出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所、その他の個人情報について「中央大学個人情報保護規程」、「中央大学個人情報保護方針」に基づき細心の注意を払って取り扱い、①入学試験実施(出願処理・選考実施)、②合格発表、③入学手続、④各種統計処理を行うために利用します。また、上記利用目的のために、個人情報の一部の取扱いを、個人情報の取扱いに関する契約を締結したうえで外部業者に委託することがあります。

なお、理工学研究科入学試験に係る個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、理工学部事務室大学院担当までお願いします。

VI 合格発表と入学手続

1. 合格発表

合格発表は、**学内掲示と郵送**により行います。

学内掲示は、合格発表日の午前 11 時に、後樂園キャンパス 6 号館 1 階理工学部事務室前掲示板に掲示します。

郵送は、受験者全員に対して合格発表日の午後に発送します。

【注】電話等による問い合わせには、一切応じません。また、試験結果等に関する問い合わせにも一切応じません。

2. 入学手続

(1) 入学手続は、2025 年 12 月中旬に交付する「入学手続要項」を参照して行ってください。

(2) 入学手続は、2 度に分けて行います。

①入学申込手続（A 手続）

入学金相当額の入学申込手続金を下記の所定の期限までに納入し、所定の手続書類を提出してください。入学申込手続金は、入学完了手続を完了した場合は、入学金に充当します。

③ 入学完了手続（B 手続）

入学完了手続金を所定の期限までに納入し、所定の手続書類を提出してください。

入学申込手続 (A 手続)	2026 年 1 月 15 日 (木)
入学完了手続 (B 手続)	2026 年 3 月 6 日 (金)

- 【注】** 1. 合格者は入学手続要項に従い、定められた手続期間内に入学手続を行ってください。
手続期間内に所定の手続を行わない場合は、入学を許可しないので十分注意してください。
2. 入学金（入学申込手続金）は理由の如何を問わず返還しません。

保証人について

出願時に保証人は不要ですが、入学手続時には必要となりますので、注意してください。なお、保証人は、日本に居住し独立し生計を営んでいる日本人または外国人で、留学期間中の留学生に関するすべての事項について保証できる者でなければなりません。ただし、日本在住の保証人を立てられない場合に限って、本国在住の父母を保証人とすることができます。その場合は、緊急時の連絡先として、本国の父母に連絡することができる日本在住の連絡者が必要となります。

在留手続について

入学者は、2026 年 4 月以降、原則「留学」の在留資格で在籍することになります。在留資格が「家族滞在」、「定住者」、「永住者」、「日本人の配偶者等」等の者は、大学入学のために在留資格を変更する必要はありませんが、外国人留学生対象の奨学金制度は、在留資格「留学」の学生を対象としています。

入学試験に合格し、入学手続をすべて完了した後に、本人から申し出があった場合に限り、本学から「入学許可証」を発行します。「入学許可証」の交付を受けた後、各自で入学日に間に合うように在留資格「留学」の取得申請を行ってください。

在留資格認定証明書交付申請については、日本に代理人がいない場合は、本学が代理申請をします。詳細については、合格者に送付する入学手続書類をご参照ください。

VII 学生生活について

1. 外国人留学生ガイダンスについて

外国人留学生を対象としたガイダンスを4月上旬に実施する予定です(主催:国際センター事務局)。外国人留学生のための各種制度(在留手続・奨学金など)の説明および制度利用のために必要な提出物の説明をしますので必ず出席してください。詳細は入学手続申込者に通知します。

2. 奨学金等について

- (1) 中央大学には、日本政府奨学金、民間奨学団体の奨学金制度のほか、大学独自の奨学金制度(中央大学外国人留学生奨学金)があります。外国人留学生対象の奨学金は、在留資格「留学」の学生を対象としています。

詳細は、国際センターホームページを参照してください。

<https://www.chuo-u.ac.jp/international/inbound/scholarship/>

※各種奨学金制度の申請期間はすべて入学後(2026年4月以降)となります。

※各種奨学金制度は大きく変更となる可能性があります。

- (2) 次世代研究者挑戦的プログラム(SPRING)

中央大学は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」に採択されました。

SPRINGは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が大学院博士後期課程学生を支援する事業で、本学は「イノベーションの展開に貢献する人材養成の博士後期課程プログラム(D-CPRA: Chuo Promotion for Research Activities in Doctoral Courses)」を提案しました。

本事業に応募し、選抜された博士後期課程学生には、研究奨励費(生活費)や研究費の給付といった経済支援のほか、博士学位取得後のキャリア支援を予定しています。

<URL>

<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/graduateschool/news/2024/03/70523/>



3. 住まい・国際寮について

- (1) 住まいのご案内

住まいの斡旋は中央大学生協住まいの斡旋係で行っています。生協Webサイトでもご案内していますので確認してください。

生協Webサイト <https://chudai-seikyo-ohevasagashi.com/> (都心キャンパス)

- (2) 中央大学国際寮について

中央大学には、日常生活を通じて異国の言語や文化、生活習慣に接してもらい、学生のみなさんの国際感覚を養成することを目的とした国際寮があります。

詳細は、国際センターホームページを参照してください。

<https://www.chuo-u.ac.jp/international/dormitory/>

VIII 学費

学費については、中央大学Webサイト「大学院学費一覧(2026年度入試 受験生用)」をご参照ください。

(https://www.chuo-u.ac.jp/academics/fees/admission/gschool_new_student/)

学費に関する問い合わせ : 中央大学経理部経理課 (お問い合わせフォーム) こちらのQRからアクセス→



Ⅱ 出願書類記入例

〔志願票（Ⅰ票）記入例〕



20xx年4月入学及び20xx年9月入学
中央大学大学院 志願票
外国人留学生入学試験

入学試験要項を読み、太枠内を記入してください

受験
番号

理工学研究科	課 程	☒ 博士前期課程	☐ 博士後期課程	} いずれか 必ず選択
	入学時期	☒ 4月入学	☐ 9月入学 ※	
	専 攻	都市人間環境学 専攻		

※9月入学を実施している専攻は、入試要項で確認してください。

※下記□に☑を入れてください。

☒ 入学試験要項記載の「個人情報の取り扱い」を理解し、同意します。

フリガナ	チョウ ガクキ	性別	① 男	生年	西暦
英字氏名	ZHANG Xueyi	性 別	2. 女	月 日	1995 年 12 月 13 日

※パスポート記載の英字氏名を記入してください

1. 日本国籍	☒ 2. 外国籍	国籍	中国
---------	--	----	----

顔写真貼付欄

1. 正面・無帽・無背景・カラー
2. 3ヵ月以内に撮影のもの
3. 裏面に氏名を記入すること

縦4cm×横3cm

出身 大学	1. 国立	河海	大学	水文	学部	水文	学科	西暦	2018 年 7 月	卒業	卒業見込
	2. 公立							※学籍番号			
	3. 私立										
	4. 外国										
指導 教員	第1希望		草野 みどり		第2希望		白門 太郎		現在(在学時)の指導教員(ゼミ等)		

※出願する前に必ず研究指導を受けたい教員に出願したい旨を連絡し研究指導分野について相談してください。

受験 科目	外国語	専門科目	入学後の研究分野(簡潔に)	修了後の進路
	なし	都市人間環境学	都市水循環	研究者
	※9月入学は「なし」と記入			

住所	〒119-2103 511	TEL	090 - 9999 - 9999
		E-mail	XXX @ XX mail. com
	東京 都 道 府 県	八王子 市 区 町 村	町名番地
		マンション名等	緑荘 102号室

○希望指導教員受験許可欄

教員氏名 草野 みどり (草野)

[入学願書 (Ⅳ票) 記入例]

Ⅳ

新卒

20xx 年 4 月入学及び 20xx 年 9 月入学
中央大学大学院外国人留学生入学試験
入学願書

受験番号

APPLICATION FOR ADMISSION TO GRADUATE SCHOOL
OF CHUO UNIVERSITY FOR THE ACADEMIC YEAR APRIL, 20XX AND SEPTEMBER, 20XX
志望研究科・課程・専攻
Desired field of study

理工学研究科
Master's course
□ 博士後期課程
Doctoral course

☒ 4月入学
April
☐ 9月入学
September

☒ 都市・人間環境学専攻
Urban, Human and Environmental Science Major course

写真
最近撮影のもの
Photo taken recently
without hat
4cm×3cm

フリガナ
氏名
Name in full
張 学义
姓 (Family name) 名 (First name) ミドルネーム (Middle name)
ZHANG Xueyi
姓 (Family name) 名 (First name) ミドルネーム (Middle name)
張 学義
姓 (Family name) 名 (First name) ミドルネーム (Middle name)

性別
Sex
☒ 男 Male ☐ 女 Female

生年月日
Date of birth
19 95 年 12 月 13 日
(Year) (Month) (Day)
〒192-0351
東京都八王子市東中野742-1
緑荘102号室
(phone: 090-9999-9999)

本国住所
Home address
中国 河南省 昆明市 南昌路42号
曲水苑A单元101
(phone: +86-871-0000000)

現職
Present status
在学学校または勤務先の名称および住所まで記入してください。
With the name and address of the institution attend, or of the employer.
〒112-0000
(名称) 東京都文京区春日1-13-00 中央大学理工学研究科研究室
☐ 国費外国人留学生 (phone: 03-000-0000)

※記入にあたっては入試要項の「提出時の注意」(20XX 年 4 月入学生は P.13、20XX 年 9 月入学生は P.9 および「記入例」(20XX 年 4 月入学生は P.18、20XX 年 9 月入学生は P.14) を必ず参照してください。

研究内容 (具体的に)
Specified field of study
都市の水循環について

希望する指導教授名を記入してください。
Desired professor
草野 みとく

学 校
Educational background
(注) 通学したすべての学校 (小学校を含む) を年代順に記入してください。
Note: List, in chronological order, all the schools you attended (including primary school).

学校名および所在地 Name and address of school	在学期間 Period of attendance	専攻 Major	学位 Degree	取得年月日 Date received	備考欄 Remarks
昆明 小学校	2002 年 9 月				
中国雲南省昆明市 昆明 中学校	2008 年 7 月				
中国雲南省昆明市 昆明 高校	2011 年 7 月				
中国雲南省昆明市 河海大学	2014 年 9 月	水文学	工学士	2018 年 7 月	
中国江蘇省南京市 中央大学 理工学研究科 研究生 東京都文京区	2018 年 7 月 2019 年 4 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
日本語 学校	年 月				

氏 後 (該当するところに記入してください)
Military background, if any (Complete the following information.)
年 月 年 月 年 月
Completed: 年 月 年 月



20xx 年 4 月入学及び 20xx 年 9 月入学
中央大学大学院外国人留学生入学試験

受験番号

経済支弁能力を証明する書類

中央大学学長殿

受験研究科・専攻：理工学 研究科都市人間環境学 専攻博士前期・博士後期 課程

フリガナ 張 ユエイ

氏名：ZHANG Xueyi

性別：☒男 ☐女

国籍：中国

TEL：090-9999-9999

配偶者：☐有 ☒無

1. 支弁方法

☐本人 ☒外国からの送金 ☐在日経費支弁者 ☐奨学金 ☐その他（ ）

2. 経費支弁者

フリガナ リ シャオシェ

氏名：李 曉雪

住所：雲南省昆明市南昌路42号曲水苑A单元101

TEL：+86-871-000000

FAX：

Email：000@xx mail.com

勤務先企業名：OX有限

業種：会社員

勤務先 TEL：0573-9999-9999

3. 経費支弁者と出願者との関係（1. で本人および奨学金以外の場合記入）

☐妻 ☐夫 ☐父 ☒母 ☐祖父 ☐祖母 ☐養父 ☐養母

☐取引関係者・現地企業等職員 ☐その他（ ）

4. 奨学金支給機関（1. で奨学金の場合記入）

☐外国政府 ☐日本国政府 ☐地方自治体 ☐公益法人 ☐その他

奨学金名：

奨学金支給期間： 年 月から 年 月まで 年間

奨学金支給金額： 年間 円

5. 経費支弁額

学費等： 年間 130 万 円 生活費： 年間 180 万 円

※年間納付金額は中央大学 web サイト

【20 XX年 4 月入学：大学院学費一覧（20 XX年度入試 受験生用）、20 XX年 9 月入学：大学院新入生の 20 XX 年度学費】を参照のこと

※年間生活費の目安：100,000～150,000 円／月×12 か月

6. 経費支弁者の預金残高

銀行名：中国 〇〇 銀行

預金残高：50000 (US\$・JPY)

名義人氏名：李 曉雪

口座番号：666666 000000 999999

上記の通り相違ありません。

日付：20 XX 年 6 月 4 日

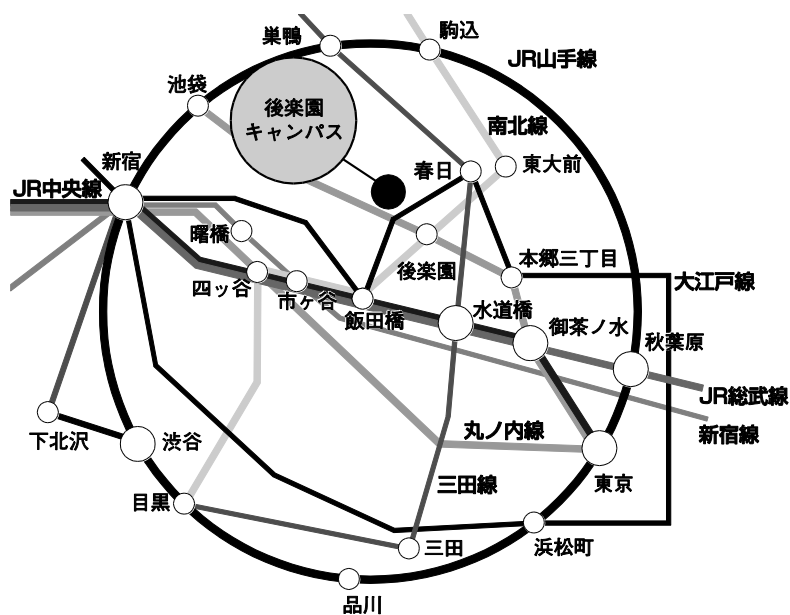
志願者署名：ZHANG Xueyi

X キャンパス案内図

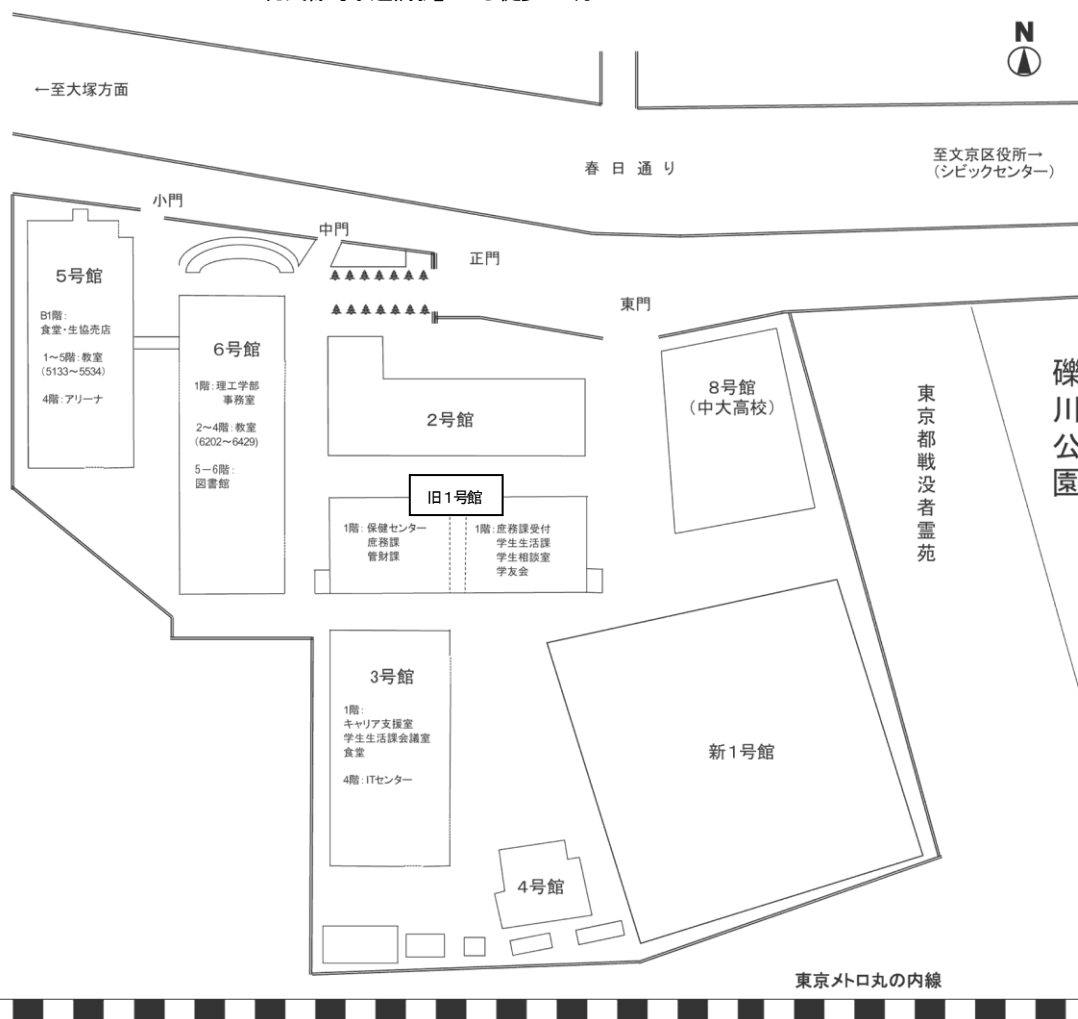
後楽園キャンパス

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27

中央大学 理工学部事務室 大学院担当 ☎ 03 (3817) 1740



- ・東京メトロ(地下鉄)丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩5分
- ・都営地下鉄三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩7分
- ・JR総武線『水道橋駅』から徒歩15分



OUTLINE OF INTERNATIONAL STUDENT ADMISSION PROCEDURES (Admission in April 2026)

Chuo University gives a special entrance examination for international students (except Chuo Graduate School of Strategic Management and Chuo Law School).

The following information is a tentative outline of admission procedures and does not in any way constitute a contract. For exact details, applicants must refer to the Japanese text of this pamphlet.

Please note: As lectures are given in Japanese, applicants are required to have sufficient Japanese language proficiency to understand lectures.

For further information, please contact:
Office of the Faculty of Science and Engineering, Chuo University
1-13-27 kasuga, Bunkyo-ku Tokyo 112-8551, Japan
Fax: +81-3-3814-0955
Web: <http://www.chuo-u.ac.jp/english/>

Schedule of Admission Procedure for Graduate School of Science and Engineering

Application period: September 19-September 25, 2025

Examination dates (Written exam and Interview) : November 4, 2025

Announcement of final results: November 10, 2025

Registration Period: Mid-January, 2026(deadline: January 16, 2026)

Date of admission: April 1, 2026

Submission of Application

Applications must be submitted by mail to Office of the Faculty of Science and Engineering, Chuo University.

Applicants who reside outside of Japan at the time of application, you will need to fill out an agent of the address to receive the admission ticket on behalf of the applicant.

Qualifications and Conditions

Applicants for admission through a special entrance examination for international students must have a foreign nationality and fulfill either of the following conditions as of April 1, 2025:

Master's Program

- (1) Applicants must have graduated from a four-year university, with a Bachelor's degree in Japan.
- (2) Applicants must have completed 16 years of school education with a Bachelor's degree in countries other than Japan.
- (3) Applicants must be recognized by the Graduate School concerned as having academic ability equivalent to those who have graduated from a four-year university, and must be aged at least 22 years old.
- (4) For details, please inquire at Office of the Faculty of Science and Engineering, Chuo University.

Doctoral Program

- (1) Applicants must have obtained a master's degree.
- (2) Applicants must have obtained a professional degree.
- (3) Applicants must have obtained a degree equivalent to (1) or (2), or higher degree from a university in countries other than Japan.
- (4) Applicants must be recognized by the Graduate School concerned as having academic ability equivalent to those who have obtained a master's or higher degree, and must be aged at least 24 years old.
- (5) For details, please inquire at Office of the Faculty of Science and Engineering, Chuo University.

Please note:

1. Applicants who have both foreign and Japanese nationalities are eligible to apply.
2. Applicants who have graduated from a Japanese university as well as those who have obtained a master's degree from a Japanese university are eligible to apply.
3. Applicants who have graduated from a Japanese senior high school are not eligible to apply.

Documents to be submitted

1. Application form I, with one photograph affixed
Please contact a professor under whom you want to study and research before applying. Make sure if the professor's laboratory can afford new students and if his/her research field is suitable for what you want to study. A professor's signature and seal are required on the application form I. Refer to "Teaching staff 2024" for a contact address of professors.
2. Application form II & III, with one photograph affixed
3. Application form IV
4. Certificate of university graduation
5. Transcript of university
6. Photocopy of valid passport
7. Thesis / Research Report(V) and abstract (VI)
8. Master's Thesis and abstract (For those who apply for Doctoral Program)
9. Proposed plan of study (VII)
10. Declaration and certification of finances (VIII)
11. Letter of recommendation from the President, Dean or an academic advisor of the institution from which the applicant has graduated (optional)

Continue on the following page

12. Certificate of Japanese language proficiency

Certificate of Japanese Proficiency: Applicants are required to submit an original Certificate of Proficiency, including a test score for the Japanese-Language Proficiency Test given by the Japan Education Exchanges and Services or “Examination for Japanese University Admission for International Students” given by the Japan Student Services Organization except those who apply for Doctor Courses in Science and Engineering. Please be aware that score criteria are different for each graduate school as below. For applicants that have graduated from or completed other universities or graduate schools in Japan (including those who are expected to graduate or complete), the proficiency test score is optional.

For Master’s program in Science and Engineering, applicants are required to have a proficiency equivalent of at least Level 2 or N2 on the Japanese Language Proficiency Test or a total score of 200 or above on the Examination for Japanese University Admission for International Students.

For Doctoral program in Science and Engineering, submission of a score is optional.

Please note that you must submit an original Certificate of Proficiency. If it is impossible to submit it during the application period because it takes time to issue it, please contact Graduate School Desk of Science and Engineering in advance.

Application Fee

¥35,000.

Fee must be paid in Japanese Yen. You can pay with a credit card payment or designated convenience store in Japan.

Selection

Admission is determined on the basis of the submitted thesis, a written examination and an interview. Subjects included in the written examination vary with each degree course. For details, please refer to the Japanese text of this pamphlet.

XI 問い合わせ先一覧

内 容	記載ページ	問い合わせ先
入学試験科目・日程（出願期間・試験日等）について	6～7	理工学部事務室
出願資格について	9	
出願書類について	10～11	
個別の入学資格審査について	12	
受験票について	15	
受験上の注意について	15	
合格発表について	16	
入学手続について	16	
在留手続について	16	国際センター事務室
奨学金について	17	
学費について	17	経理課

※問い合わせをする前に、必ず入学試験要項の該当ページを確認してください。

理工学部事務室

TEL 03-3817-1740 FAX 03-3814-0955

E-mail gsse-all-grp@g.chuo-u.ac.jp

国際センター事務室

TEL 042-674-2212 FAX 042-674-2214

E-mail ic-grp@g.chuo-u.ac.jp

経理課

（お問い合わせフォーム） こちらのQRからアクセス→



2025 年 4 月 25 日

〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27
中央大学理工学部事務室大学院担当 TEL:03-3817-1740

<http://www.chuo-u.ac.jp/>
